

— 明治大学 —

2月10日 経営学部 英語

解答

I

- 1 (A) ① (B) ② (C) ③ (D) ① (E) ③
(F) ② (G) ③ (H) ④ (I) ② (J) ④
(K) (1) easy (2) see (3) effectiveness (4) in (5) action

- 2 (L) ② (M) ① (N) ① (O) ④ (P) ②

II

- 1 (A) ② (B) ④ (C) ③ (D) ② (E) ③
2 (F) ③ (G) ② (H) ② (I) ③ (J) ④

III

- (A) ② (B) ③ (C) ③ (D) ① (E) ①
(F) ④ (G) ① (H) ① (I) ③ (J) ②
(K) ② (L) ② (M) ② (N) ② (O) ④

IV

- (A) ⑧ (B) ① (C) ⑦ (D) ④ (E) ③

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解 説

I

1.

(A) 空所には、後に続く performance という名詞を修飾する形容詞を選べば良い。

(D) when it comes to～「～のこととなると」

(E) on average 「平均して」

(F) make it 「間に合う」

(H) compose～「～を構成する」

「たいていのメロディーは7秒という最適な長さとなるよう(構成される)」

2.

(M) 第2段落第2文以降参照。

(N) 第5段落第1文の in order to 以降に、ロンドン地下鉄の乗客に横に並んでエスカレーターを利用させる目的が述べられている。

(O) Teenager-be-gone の第2段落第1文及び第3段落最終文参照。

(P) 選択肢②「駅にたむろしている若者の数は近年増えている」という記述は本文にない。

Teenager-be-gone の第1段落第2文には「1日を通じて大勢の若者が駅を通り過ぎていく」とあるが、これは普段から数が多いという意味である。「数が増加した」ということにはならない。

II

2.

(F) 最終文参照。「アジアが外国人労働者をもっと利用しないのは残念だ」ということが書かれている。

(G) 最終段落第3文参照。「高齢化しているアジア社会にとって、移住は3つの恩恵がある」ということが書かれているので、筆者は労働者をもっと自由に行き来すべきだと考えていることが分かる。

(H) 選択肢①：第6段落第3文参照。

選択肢③：第6段落第3文参照。

選択肢④：第5段落第3文以降参照。

(I) 「一方、南アジアは1億3千4百万人の労働者を失っても差し支えない」という意味。

(J) 第9段落第4文参照。「ビザが切れても滞在することがないように、帰国するために必要な金を前もって払わせる」ということが書かれている。

III

ほとんどの問題が文法理解より、単語や熟語の知識を要求するものであった。基本的な英語表現の暗記が足りていない受験生にとっては、辛い問題もいくつか含まれていた。

(A) step away from～「～から離れる」

(B) off the mark 「的外れ」

- (C) take a message 「伝言を預かる」
- (D) put off～ 「～を延期する」
- (E) at the last moment 「土壇場で」
- (F) one's hands are tied 「何もできないでいる」
- (G) 文頭に接続詞が残っているパターンの分詞構文であることに気が付ければ、容易に正解できたはず。
- (H) around the clock 「24 時間体制で」
- (I) cost saving 「節約」
- (J) run to～ 「～へすぐに駆けつける」
- (K) that's all you need, isn't it? 「それだけあればいいよね？」
- (L) hold the line 「電話を切らずに待つ」
- (M) 単に consider の意味が分かるかが問われている。
- (N) it wouldn't have come to this の部分を見て、仮定法過去完了の文であると判断できれば良い。
- (O) someone else 「他の誰か」

IV

- (A) 後に続く Mehtu の発言が手掛かりになる。It という主語と has という動詞で受けていることから、選択肢⑧It's been ages 「久し振り」が正解だと判断できる。
- (B) 比較的手掛かりの少ない空所なので消去法になる。先行する Mehtu の発言で新しい(以前とは異なる)髪型に触れられたことを受け、選択肢①「ちょっと変化が欲しくなってね」と付け加えたのだと判断する。
- (C) 後に続く強い驚きを表わす言葉が手掛かりになる。それら驚きの表現の筆頭に来るものとして、選択肢⑦No way 「あり得ない」が正解だと判断できる。
- (D) 直後にある what the professors were saying 「教授の言っていること(いわゆる「時制の一致」から過去形になっているだけ)」という名詞節が手掛かりとなる。正解となる選択肢の末尾には、そのような名詞を目的語などとして取ることができる表現がなければならぬ。その条件を満たしているのは選択肢④I couldn't work out... 「私は...を理解することができなかった」である。
選択肢⑥も末尾に動詞があるが、depend は自動詞なので直後に名詞を置く形にならない。
- (E) 比較的手掛かりの少ない空所なので消去法になる。前後の発言から「後でまた話をしよう」というような提案をしていることが分かる。そこで選択肢③We can catch up on stuff 「(また後で)積もる話をしましょう」が正解だと判断する。catch up は、主に会話において「(しばらく会っていなかった)ので積もる話をして近況を確認し合う」という趣旨で使われることがある。会わなくなった時点で止まっている近況の情報が、話をすることで今に「追いつく(catch up)」ようにするということ。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！